

一休禪師一代記圖會

初編

特別

A13

4301

1

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

一休禪師一代記圖會



出雲於國
歌舞妓躍之古圖

昭和二年一月十六日 寄
中村本天氏 贈

氏 贈



一休禪師後小松院の二子御諱を宗純紫野大徳寺
宗墨禪師の法嗣其四名四海高曾我蛇足不重法を
受るといふも賛不悟意を轉ト懸隔の更と書一輕忽不適
の賛を作相應實跡ありの少一九年面壁の客ハ高麗渡
れ瓜小譬大千世界ハ空の二字悟り勸善懲惡を諭一
老婆の途を暗一戲言を吐く長者の邪欲を放させぬ
あど其道得を挙く一種とせり号く一休一代記と云者客
尊信あるもふとも必疑更ありとらんぬ

嘉永癸丑新春

樓花亭江島識

印

新刊傳普文端

一木三氏已

一休禪師朱太刀之像



傍若無人閑逸心 奈何尔下必塵深
夢聞銀燭繡簾月 白日青天咲朗吟

右休禪師自像之讚

遊女地獄像



泉州坂高須名妓

遊女地獄

此連哥問答のこころ

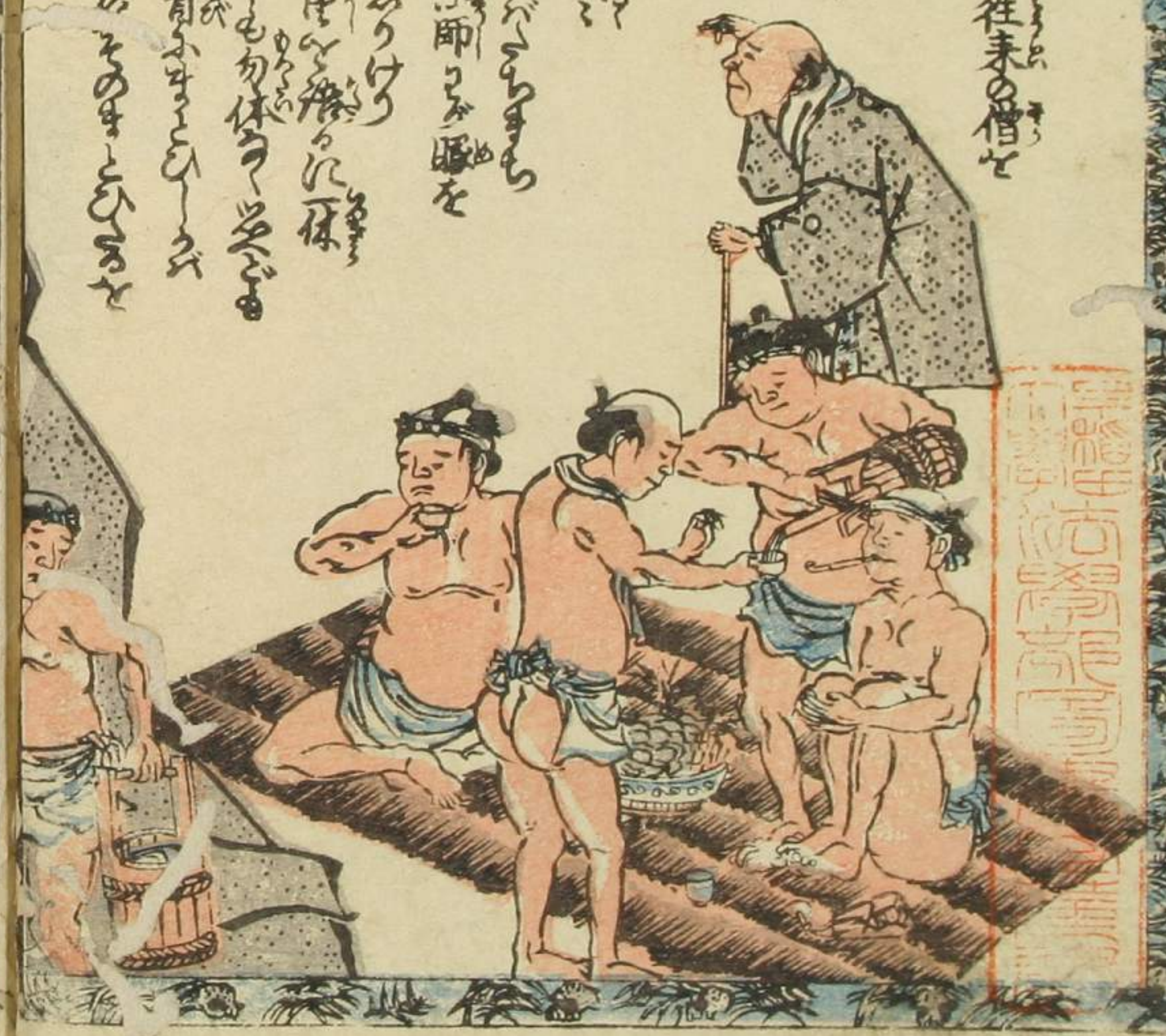
池坊

堺崎ふんえん



一木一石

勢州關地藏
勢陽雜記云文明年間石像再建之往來僧
招て開眼をなせしける其の詞旨
あやうくたみみくいのすゑなるに
むろさうたみみくいのすゑなるに
作ていふ國の地蔵開眼の導師と休和家
伝ふれば佛のわくわくするもすべし
これぞ開眼のすゑなりとて返すも
是とわきまをたてて求むるも
そふくハ物怪つるといひたる天下の老法師も
はるかに何とぞとて返すも
人々いふは彼のわきまを返すも
これぞおれを杭鼻とて返すも
そふくハ物怪つるといひたる天下の老法師も
物怪つるといひたる天下の老法師も
とて返すも



一木一石



鷹ヶ峯

あふち
の
さか
さか



大徳寺

境内

熱門

風系

肥後

おの

の

林

み
り
さ

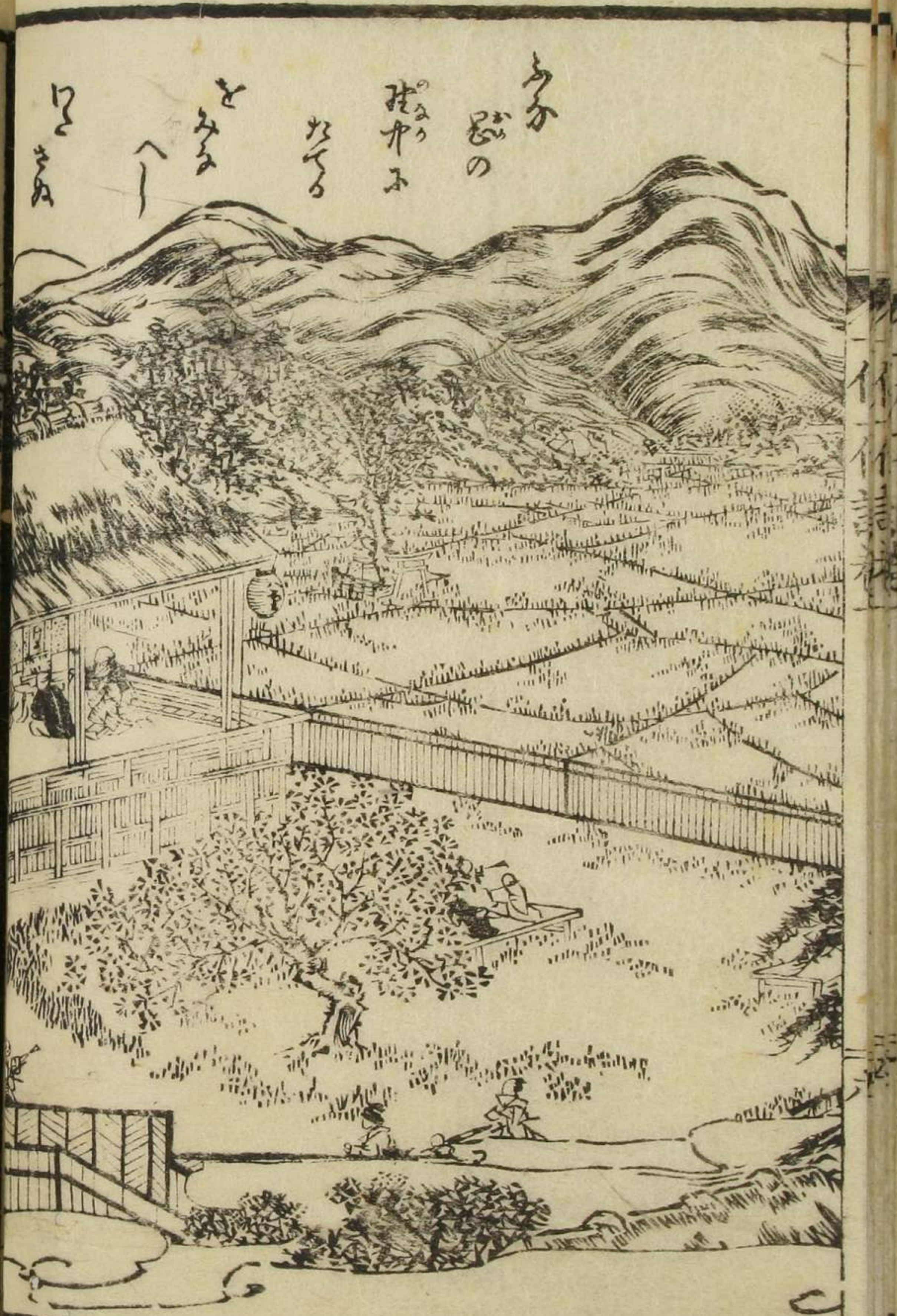
街

雲林院

今呂御旅



あはれ
とを
れり
く
へ



うか
ぶの
むか
へ
と
み
り
き



一休
和尚
言
卷

ずとてあつたのやうに、
 流の光とてあつた、
 つうつとあつた、
 さいむとてあつた、
 あり、
 血の、
 流、
 世の、
 一、
 獄、
 る、
 お、
 さん、

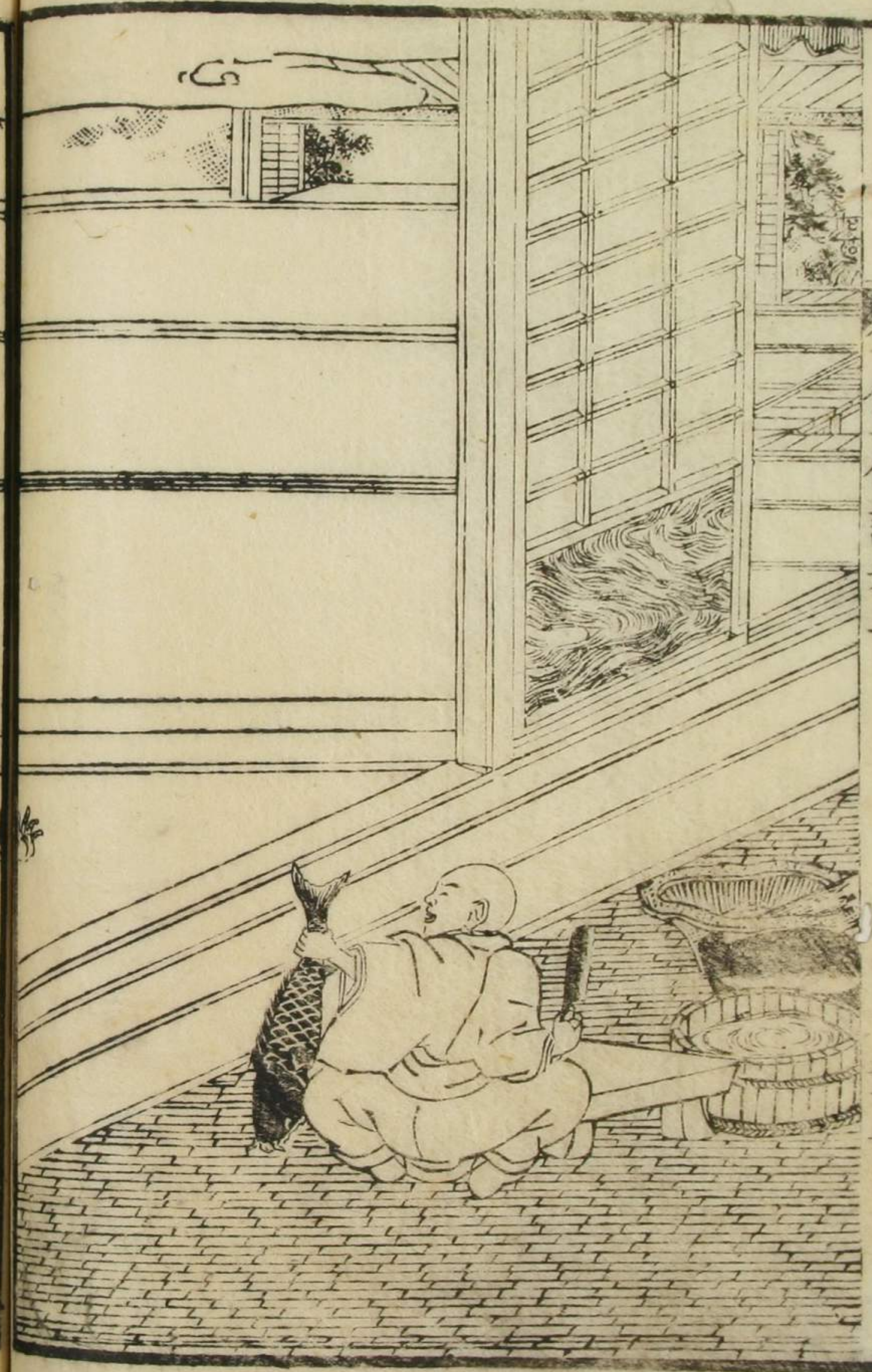
一休人とあり、その、

流、
 る、
 ち、
 り、
 報、
 ま、
 是、
 ま、
 さ、
 て、
 神、
 ち、
 る、
 生、



一代記卷一

十七



一休和尚は塙が仇好おきて或日ついでに塙と雲ふつふにれたる
 所を一所へ唐よきまゝてあるく。うつつの老女うゝこととづね
 居る夜。おそくりしうははたこびり入す。

けあ
あ
も
り
を
と
り
よ
な
が
そ
の

とまのへ^{あう}る^{どう}のむさよ

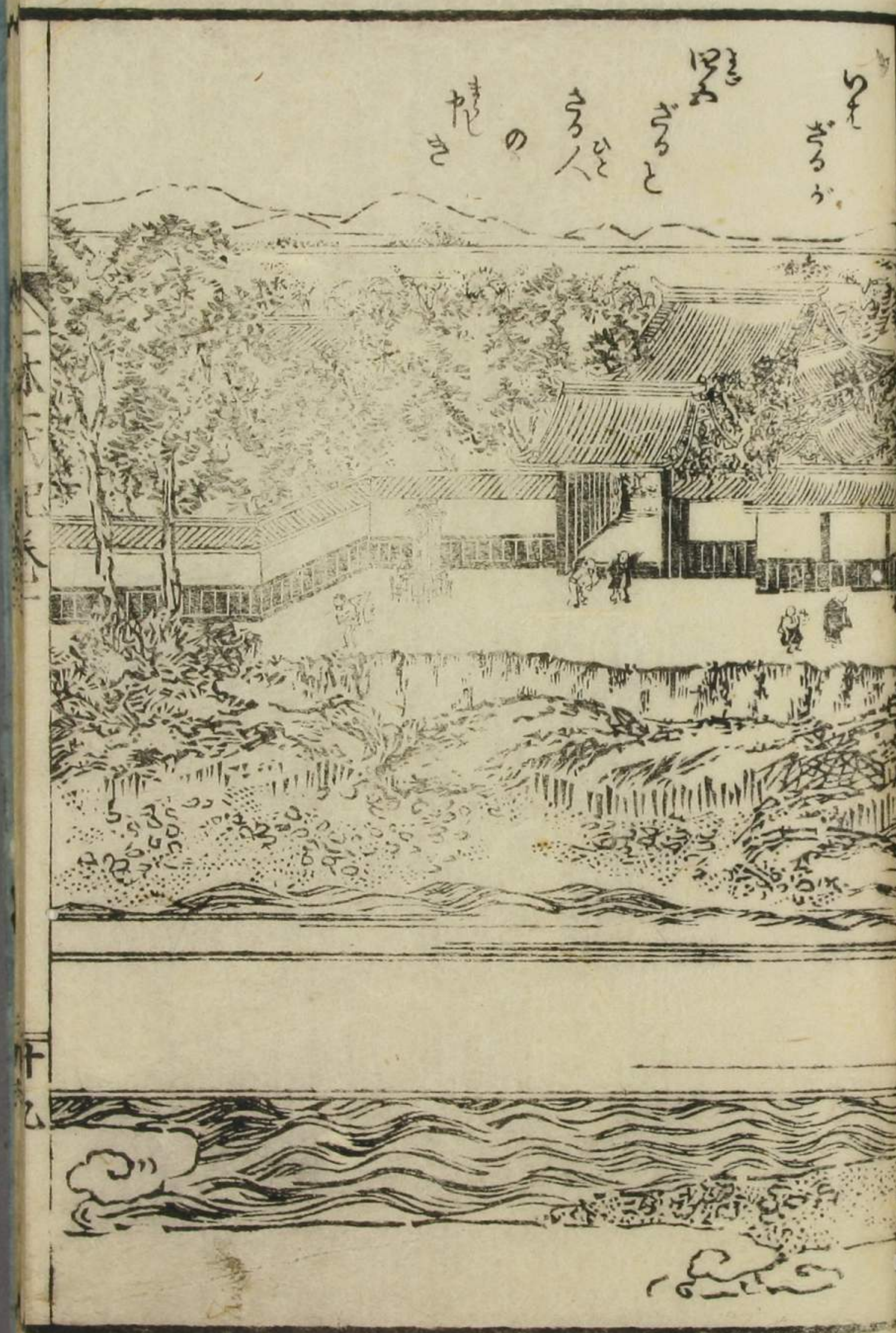
とあそびけりともうく増はぬといひてきさうけ
こびてはさきむさくし食らんもむぎんのさう
あていとて

千石親吉 天鉄別

斬新 禁戒 任憑 如何

大葉オホハ不フすくきキ大葉オホハ不フすくきキ

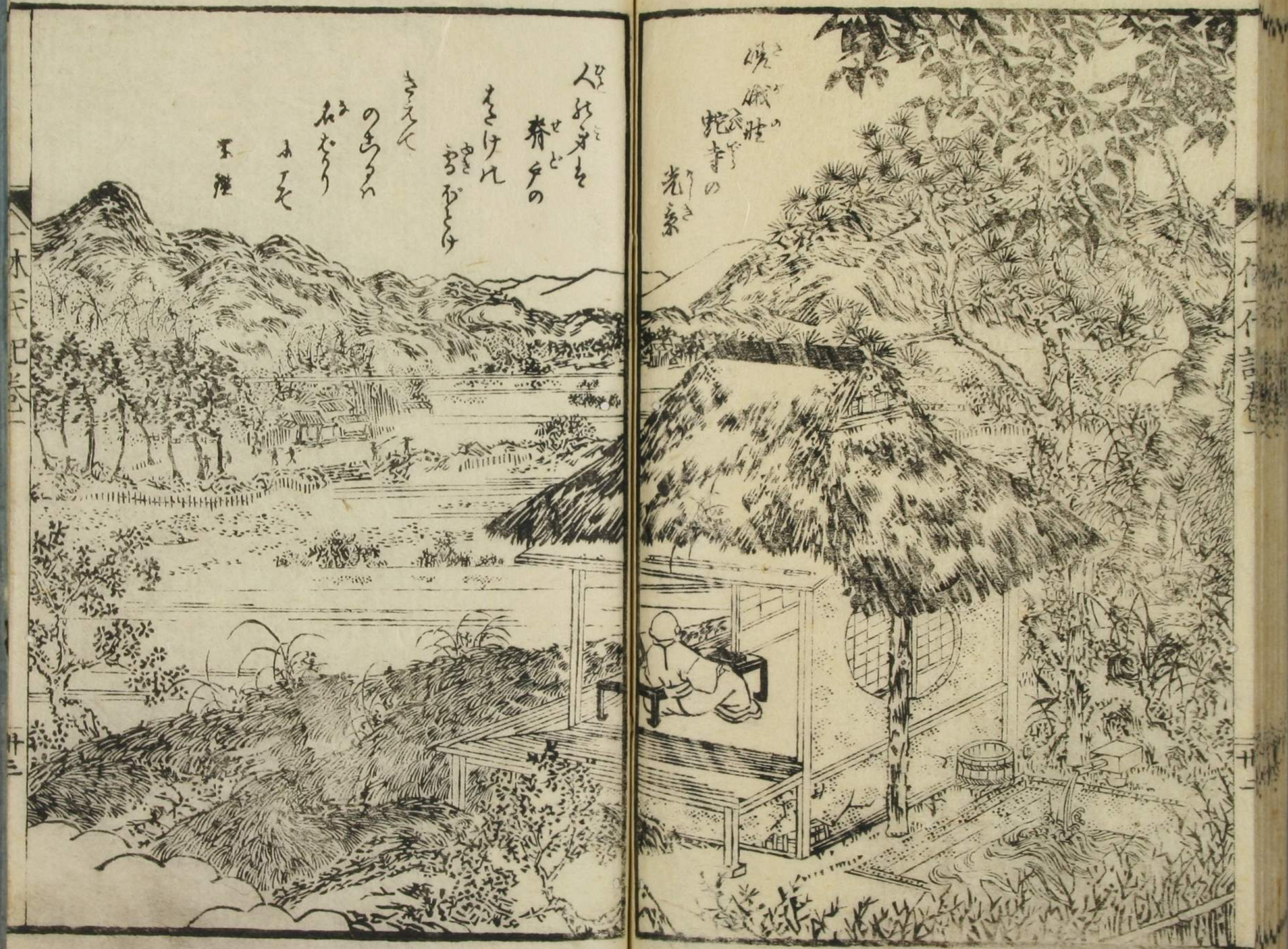
ふせよとて。ふどり。是どり。ふより。休派させ。種研とくけて
ひさ。金。ふさひ。ふさひ。さる。権方へ。あきて。酒。ふど。ま。つ。け。る。が。あ。ま。り。ふ
多く。権と。ま。の。り。る。友。吐。却。る。ま。れ。る。が。さ。る。権。あり。是。れ。元。寇。是
と。ん。て。あ。ま。ど。ろ。き。ナ。ら。ん。一。休。和。尚。の。中。う。ふ。あ。ひ。し。よ。と。ま。と
ま。の。り。る。う。る。ま。さ。く。ふ。ま。さ。き。坊。や。あ。ま。り。と。あ。ざ。り。笑。け。れ。ば
一。休。す。て。も。さ。い。げ。ん。の。や。と。よ。こ。ま。の。権。と。ぶ。ね。ど。も。に。よ。う。い。づ。ま。べ。え
く。さ。う。さ。う。ま。づ。ろ。我。権。と。ふ。ひ。あ。い。あ。ず。と。あ。づ。ひ。ろ。く。べ。に。さ。う。た。き
却。さ。る。あ。う。め。と。あ。づ。ひ。ろ。く。や。い。ろ。く。ま。さ。き。坊。や。と。あ。づ。り。上
り。て。あ。ひ。け。れ。ど。も。い。ろ。く。ま。さ。き。坊。や。と。あ。づ。り。上
え。さ。ん。と。ん。で。引。連。百。番。遍。あ。り。て。若。守。法。師。の。画。像。と。え。せ。て。お。れ
え。り。人。と。よ。若。守。あ。い。と。あ。づ。り。ま。れ。ど。も。に。さ。う。こ。ろ。と。あ。づ。り
若。守。大。師。さ。う。さ。う。お。の。に。よ。り。あ。づ。り。と。判。り。さ。う。ま。う。て。若。守
と。い。さ。る。権。の。あ。り。と。さ。う。あ。せ。ん。と。さ。う。と。作。り。ま。れ。ば。若。守。人。と。ま。と
う。つ。て。さ。も。若。守。さ。う。さ。う。若。守。や。と。い。と。判。り。さ。う。う。り。さ。う



つむうへもあそびだより。吏部のりのうへひりともう。或あるは素みとひりたる
さればそと境そのまへのものとより出でるうと受うく。後のちもきんまづそのどくしむ
同どう家の考のりより對たいする時ときは人倫じんりんのまじきやうふあふん。地恩ちおんのころえ
是これ独ひとりともうくといふあふむ

不陸

暖
 職
 蛇
 寺
 光
 系



卷三

大坂 東 都

河内茂兵衛
秋田屋太右衛門
出雲寺萬次郎
須原屋茂兵衛
小山屋佐兵衛
小椋屋新兵衛
梶原屋伊兵衛
須原屋伊兵衛
和泉屋嘉兵衛
丁子屋平兵衛
山崎屋清兵衛
山口屋藤兵衛

